

標題

Paris MOU によって実施される PSC 検査に関する新しい検査制度(New Inspection Regime)について

ClassNK

テクニカル インフォメーション

No. TEC-0825
発行日 2010年8月12日

各位

Paris MOU は、その領域内に入港する船舶に対して実施する PSC 検査において、対象とする船舶に対する評価基準を変更し、新しい PSC 検査制度(New Inspection Regime, NIR)を導入する予定です。

この NIR の概略は以下のとおりです。

1. 施行日:

2011年1月1日から実施。

2. 対象船舶の評価基準:

船舶の種類、船齢に加えて、過去3年間の Paris MOU における PSC 検査結果に基づいた、

- 管理船の旗国、船級協会及び管理会社の PSC におけるパフォーマンス、及び
- 管理船の PSC 検査での欠陥事項の指摘項目数及び拘留の回数

をパラメーターとした Ship Risk Profile を採用し、パラメーター毎に算出したポイント数及びパフォーマンスの優劣レベルに応じて、Low Risk Ship (LRS)及び High Risk Ship (HRS)に分類され、そのどちらにも該当しない場合には、Standard Risk Ship (SRS)となる。

3. 管理会社のパフォーマンス:

今回、管理会社のパフォーマンスが評価基準に新しく追加されました。これは、対象となる船舶の管理会社の船舶のうち過去36ヶ月以内に Paris MOU 領域内で実施された全ての PSC 検査に対する、欠陥事項(Deficiency)として指摘された項目数及び拘留(Detention)された回数を指標として、Paris MOU 内で実施された全船舶の PSC 検査結果の平均値と比較して、管理会社を High, Medium, Low 及び Very Low の4段階で評価するスキームです。

4. PSC による検査の間隔:

上記2での分類に応じて Paris MOU での PSC 検査の実施間隔が以下を標準として行われます。

- Low Risk Ship (LRS): 前回の PSC 検査から 24-36ヶ月毎
- Standard Risk Ship (SRS): 前回の PSC 検査から 10-12ヶ月毎
- High Risk Ship (HRS): 前回の PSC 検査から 5-6ヶ月毎

5. 入港報告:

HRS 該当船舶及び船齢12年以上のケミカル船、バルクキャリア、ケミカルタンカー、ガスキャリア、油タンカー及び客船に対して、入港72時間前の事前報告が、また、全ての船舶に対して、入港24時間前の事前報告及び実際の入出港時間の報告が義務付けられます。

(次頁に続く)

NOTES:

- ClassNK テクニカル・インフォメーションは、あくまで最新情報の提供のみを目的として発行しています。
- ClassNK 及びその役員、職員、代理もしくは委託事業者のいずれも、掲載情報の正確性及びその情報の利用あるいは依存により発生する、いかなる損失及び費用についても責任は負いかねます。
- バックナンバーは ClassNK インターネット・ホームページ(URL: www.classnk.or.jp)においてご覧いただけます。

また、Paris MOU のウェブサイト(<http://www.parismou.org/>)において、本件に関する詳細な内容が公表されております。

なお、本件に関してご不明な点は、以下の部署にお問い合わせください。

財団法人 日本海事協会 (ClassNK)

本部 管理センター 検査技術部

住所: 東京都千代田区紀尾井町 4-7 (郵便番号 102-8567)

Tel.: 03-5226-2027 / 2028

Fax: 03-5226-2029

E-mail: svd@classnk.or.jp